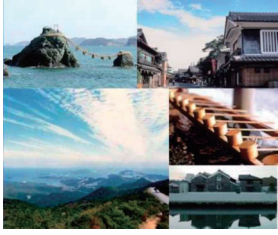


令和3年度 厚生労働省 母子保健指導者養成研修  
妊産婦のメンタルヘルスケアと「産後ケア事業」に関する研修

# ママ安心サポートいせ

～妊娠期からのメンタルヘルス支援～



三重県伊勢市健康福祉部 健康課  
保健師 田中はるな

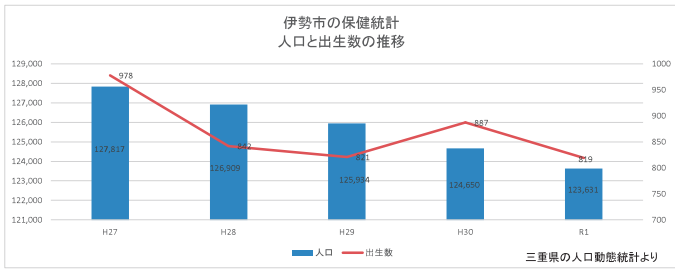
# 伊勢市の概要



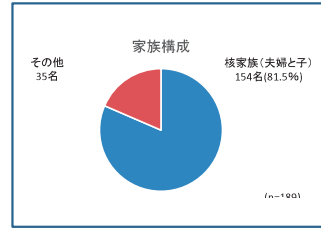
【人口・世帯数】(令和元年10月末現在)  
総人口 : 125,695人  
世帯数 : 55,580世帯  
【面積】208.35km<sup>2</sup>

伊勢市は、三重県の中東部に位置し、比較的温暖な気候に包まれた都市です。伊勢志摩国立公園の玄関口として、豊かな自然・食材に恵まれ、古くから「お伊勢さん」と呼び親しまれてきた伊勢神宮を擁し、神宮御鎮座のまちとして栄えてきた都市です。

# 伊勢市の保健統計



# 子育て環境



・車で15分以内に母方実家がある47.6%  
・車で15分以内に父方実家がある44.4%

市内にある  
産科医療機関(分娩可): 5件  
助産院: 1件

順天堂大学との共同調査  
平成30年度「伊勢市子育てに関する意識調査」結果より

# ママ安心サポートいせの取り組み

- H26年度 産後に関するアンケートを実施  
(里帰りや支援者の実態、産後ケアなど支援に関する要望を把握)
- H27年度 先進地視察  
保健師(母子保健コーディネーター)・助産師採用  
子育て世代包括支援センター(母子保健型)を設置  
産前産後サポート事業開始
- H28年度 産後ケア事業開始  
子育て世代包括支援センター拠点施設  
『ママ☆ほっとテラス』を開設
- H30年度 産婦健診・1か月児健診開始

# ママ安心サポートいせ

～妊娠期から切れ目のない支援を行います！～



## 母子保健相談支援事業 (母子手帳交付・妊婦面談)

### 妊婦面談の充実

【妊婦面談】  
母子保健コーディネーターを中心に保健師が実施  
・『ママ安心サポートプラン』を作成  
・要フォロー妊婦は地区担当保健師を紹介し顔つなぎを行う



・H31.4月～  
・母子手帳交付を中央保健センターに集約  
※妊婦面談の充実を図るため、約3割発行していた総合支所での発行を廃止。  
・転入妊婦へのアンケート・面談を実施

要フォロー妊婦・特定妊婦の場合はカンファレンスを実施  
(母子手帳交付者・地区担当保健師・母子保健コーディネーター)

6

## 母子保健相談支援事業 (ハイリスク妊婦の分類)

	概要	支援方法	R2年度実績
ハイリスク妊婦	産後支援にむけ、ハイリスク要因の情報が引継ぎが必要な方	・妊婦健診受診状況・入籍等確認 ・早めのおめでとうコール・新生児訪問	249人 <29%>
要フォロー妊婦	妊娠中に、体調や養育環境・支援状況などの把握、支援が望ましい方	・妊婦健診受診状況・入籍等確認 ・妊娠前から電話や訪問、教室への勧奨 ・早めのおめでとうコール・新生児訪問	58人 <6.8%>
特定妊婦	養育・育児に支障が大きく、虐待の危険性の高い方	・妊婦健診受診状況・入籍等確認 ・要保護児童対策地域協議会で見守り・支援 ・妊娠前から電話や訪問、教室への勧奨 ・関係機関との調整	25人 <3.1%>

7

## 産前産後サポート事業

### ①パパとママの教室



令和2年度実績  
<教室>  
実施回数：4回/年  
参加人数：92人  
(妊婦46人・夫46人)  
<個別>  
参加人数：17組  
※初妊婦の18.4%が参加

8

## 産前産後サポート事業

### ②マタニティママのおしゃべりタイム



令和2年度実績  
実施回数：1回/年(1回中止)  
参加人数：3人  
令和3年度  
実施回数：1回 (11月に2回目を予定)  
参加人数：7人

9

## 産前産後サポート事業

### ③おめでとうコール



#### 相談内容

最近、何をしても泣きやまない。  
どうしたらいいの？

混合栄養だが、ミルクをどのくらい足せばいいかわからない。



助産師

令和2年度実績  
対象者数：741人  
実施数：728人  
実施率：98.2%  
※未実施者については、早目の新生児訪問を実施。

10



## 産後ケア事業 (宿泊型・通所型・訪問型)



#### 【経過】

平成26年7月～ 産後支援に関するアンケートを実施(1年間)  
・産後家族などから支援を受けられなかった産婦が3.1%  
・産後ケア事業を「利用したかった」と回答したものが69.1%  
平成27年度 先進地視察  
平成28年10月 事業開始  
令和2年度 多胎児加算、料金の改定(宿泊型)  
令和3年度 対象を拡充

11



## 産後ケア事業 (宿泊型・通所型・訪問型)



### 【対象者】

- 産後おおむね1年までのお母さんと赤ちゃん
- 家族などから産後の家事・育児等の援助が受けられない方
- 産後の身体的機能の回復について不安がある、または育児不安が強く保健指導を必要とする方
- お母さんと赤ちゃんともに専門的な治療が必要のない方

【期間】 原則7日

【実施機関・自己負担額】

	実施機関(件)	課税世帯	非課税世帯	生活保護世帯
宿泊型 (40,000円)	医療機関:4 助産所:1	4,000円	2,000円	無料
通所型 (20,000円)	医療機関:2 助産所:1	2,000円	1,000円	無料
訪問型 (12,000円)	助産所:2	1,200円	600円	無料

※宿泊型のみ、多胎児加算あり

12

## 産後ケア事業利用の流れ

- ①本人からの利用希望 (産科・健康課より紹介)
- ②本人・医療機関より聞き取り、面談
- ③事業対象かどうかの判定(課内カンファレンス)

対象と認定

<利用開始>

対象外

- ④産後ケアサービス調整会議
  - ⑤利用経過・終了後聞き取り・面談  
サービス調整会議・サービス利用評価
  - ⑥地区フォロー  
(養育支援訪問事業・子育て相談・電話相談など)
- ④地区フォロー  
民間サービス紹介など



13

## 産後ケア事業 (宿泊型・通所型・訪問型)

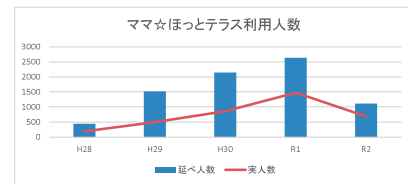
### 【実績】

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 9月15日現在
宿泊型	1人 (6日)	6人 (24日)	1人 (5日)	3人 (17日)	3人 (12日)	1人 (7日)
通所型	0	0	0	0	0	0
訪問型	0人	2人 (3日)	2人 (6日)	4人 (6日)	1人 (3日)	2人 (14日)
計	1人 (6日)	6人 (27日)	2人 (11日)	6人 (23日)	4人 (15日)	3人 (21日)

開始当初は、保健師が紹介し利用に繋がったケースが多かったが、近年は「一人目は産後うつになったので、今回は産後のメンタルを安定するために利用したい」との本人からの申し出が増えてきている。

14

## 拠点施設「ママ☆ほっとテラス」



15

## 今後の課題・取り組み

- ・妊婦面談の充実
- ・コロナ等社会情勢に応じた、相談支援方法の検討
- ・医療機関など関係機関との連携強化

安心して妊娠・出産できるように  
妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行います！！



16